

令和7年度県立高等学校入学者選抜学力検査 社 会

■ねらい、出題の内容

1 地理的分野の問題

【ねらい】特徴の異なる二つの世界地図を題材に、世界の地理的事象における基礎的・基本的な知識の理解や定着をみるとともに、地図、表、グラフ等様々な資料から有用な情報を適切に選択して活用する技能および思考力、判断力、表現力等の力をみることをねらいとしています。

【出題の内容】(1) 緯線と経線が直角に交わる地図の特徴に着目して、距離と方位がどのように示されるのか思考、判断する問題。(2) 都市の位置や気候帯の分布等の視点に着目して、雨温図から読み取ることのできる気候の特徴について思考、判断する問題。(3) 人口、GDP、貿易額など多面的な視点から、ヨーロッパ、アメリカ、日本の特徴について思考、判断する問題。(4) 西アジアの豊富な資源である石油に着目して、主な産油国が加盟する組織についての知識を問う問題。(5) 特定の農産物や鉱産資源の輸出額についてのグラフからアフリカ経済の課題を読み取り、その知識を問う問題。(6) ①森林面積の減少という現代的な課題について、日本の面積と比較して、思考、判断する問題。②地球規模でみる持続可能な開発について、多角的・多面的な視点からとらえ、思考、判断して表現する問題。

2 地理的分野の問題

【ねらい】中部地方を題材に、日本の地理的諸事象における基礎的・基本的な知識の理解や定着をみるとともに、地図、グラフ、表等の諸資料から情報を読み取る技能や読み取った情報を根拠として、思考力、判断力、表現力等の力をみることをねらいとしています。

【出題の内容】(1) 日本の中央部に位置する日本アルプスについての知識を問う問題。(2) 中部地方の内陸(中央高地)の気候の特徴に着目して、その地域に適した農業について思考、判断する問題。(3)・(4) 豊富な雪どけ水を利用した水力発電との結びつきに着目した、北陸地方の工業について思考、判断する問題。(5) 中部地方の各県の農業の特徴に関する知識を生かし、製造品出荷額に関するグラフから各県の製造業の特徴を読み取る問題。(6) ①②地形図から必要な情報を読みとり、地形図の示す土地利用と地域の特徴について思考、判断して表現する問題。

3 歴史的分野の問題

【ねらい】日本と世界の、古代から近世の歴史について、金・銀・銅との関わりをテーマにしたカードをもとに、基礎的知識の理解や定着をみるとともに、日本の政治や経済について、当時の世界の動きと関連させながら、思考力、判断力、表現力等の力をみることをねらいとしています。

【出題の内容】(1) 大陸との地理的距離に着目して、江戸時代に金印が発見された場所について思考、判断する問題。(2) 前後の時代の文化的特徴と比較しながら、奈良時代の文化的特徴に関する知識を問う問題。(3) 幕府が京都に置かれた時代に着目して、当時の琉球の繁栄、中国との関係性について思考、判断する問題。(4) 世界遺産に登録されている石見銀山に着目し、世界に与えた経済的影響について思考、判断する問題。(5) 南蛮貿易の相手であるヨーロッパ人が日本を目指した背景に着目して、ヨーロッパ人がアジアへ来るルートについて思考、判断する問題。(6) 江戸時代における武士の経済的負担と幕府の財政難の両方の視点に着目して、「米将軍」とも呼ばれた人物の経済政策を問う問題。(7) 金貨と銀貨の交換比率の違いがもたらす日本経済への影響に着目して、外国との自由貿易による国内経済の混乱について思考、判断し、表現する力を問う問題。

4 歴史的分野の問題

【ねらい】「近現代における政党政治の展開」をテーマとした年表をもとに、近代以降の日本の歴史を年表や史資料を活用して、基礎的知識の理解や定着をみるとともに、日本と世界の国々を関連付けながら資料を読み取る技能および読み取った情報や習得した知識等を活用した思考力、判断力、表現力等の力をみることをねらいとしています。

【出題の内容】(1) 近代日本の政治的画期や推移に着目して、議会政治に至る動きに関する知識を問う問題。(2) 近代日本の外交の視点に着目して、当時の世界情勢や日本の外交姿勢について思考、判断する問題。(3) 原敬内閣の成立意義に着目して、本格的な政党内閣の成立に関する知識を問う問題。(4) 普通選挙実現への歴史的推移に着目して、有権者の資格拡大に関する知識を問う問題。(5) 政党政治の行き詰まりと難航する外交政策に着目して、軍部台頭の過程について思考、判断する問題。(6) 第二次世界大戦に向かう国際情勢と日本の動きに着目して、ヨーロッパ、アメリカ、日本のそれぞれの外交について思考、判断して並び替える問題。(7) 冷戦が続く中で日本の

姿勢に着目し、その後長く続く自民党政権の始まりに関する知識を問う問題。

5 公民的分野の問題

【ねらい】自分たちが住む地域に関する探究活動の成果発表の場を想定した文章をもとに、経済分野を中心とした基礎的知識の理解や定着をみるとともに、金融、少子化、社会保障、エシカル消費等について思考、判断する力をみることをねらいとしています。

【出題の内容】(1) インクルージョンの視点に着目して、障がいのある人もない人も快適に暮らすための取組に関する知識を問う問題。(2) 中小企業の従業者数、企業数、製造品出荷額の特徴をグラフの割合と比較し、具体的に表現する問題。(3) 通貨の単位の異なる外国と貿易を行う具体的な方法に着目した、為替に関する知識を問う問題。(4) 子育てと仕事を両立することの難しさ、結婚年齢の高まりに着目して、少子高齢化が進む背景に関する知識を問う問題。(5) 子どもを含む社会で弱い立場になりやすい人々を支援する仕組みに着目して、日本の社会保障制度に関する知識を問う問題。(6) エシカル消費や地産地消といった話題に着目して、身近な地域において自分たちができる活動について思考、判断して表現する力を問う問題。

6 公民的分野の問題

【ねらい】生徒が政治分野を中心に設定した学習課題をテーマとして、人権、政治、平和主義、共生社会に関する基礎的知識の理解や定着をみるとともに、資料や文章から情報を読み取り、思考、判断して表現する力をみることをねらいとしています。

【出題の内容】(1) 人権の保障とその限界や制限という両方の視点に着目して、公共の福祉について思考、判断する力を問う問題。(2) 憲法改正が他の法律の改正と異なる意義に着目して、具体的な憲法改正の手続きに関する知識を問う問題。(3) 日本の平和主義と安全保障の視点に着目して、アメリカ軍が日本に駐留することを認めている具体的取り決めに関する知識を問う問題。(4) 国際連合と安全保障理事会の役割に着目して、常任理事国が持つ拒否権に関する知識を活用して資料から必要な情報を読み取り、思考、判断する力を問う問題。(5) 男女が対等な立場で活躍できる社会の実現という視点に着目して、その先駆けとなった具体的な法律に関する知識について問う問題。(6) 内閣総理大臣と国会との関係に着目して、内閣総理大臣の指名についての文章を読み取り、思考、判断して表現する力を問う問題。

■今後の学習指導のために

各大問とも、設定された課題やテーマを軸に、基礎的な知識に基づき、資料から情報を読み取りまとめる技能や資料を活用しながら思考、判断する力や読み取ったことをもとに表現する力をみることを大きなねらいとしています。このことは、学習指導要領において、学習した知識や技能を有機的に結びつけ、社会的な課題に対処し、解決していく力を育むことを重視していることによるところが大きいからです。そのためにも、生徒が「社会的な見方・考え方」を働かせることができる学習活動が位置付けられた授業の推進が求められます。また、生徒の「主体的・対話的で深い学び」につながる、単元を通したねらいを設定した学習活動や明確な評価規準を設定した学習指導を行う中で、基礎的な知識の定着や情報を収集する、情報を読み取る、情報をまとめる技能の確実な習得を図るとともに、資料を活用した思考、判断、表現する活動を一層充実させることが大切です。

■まとめ

上記のとおり社会科の学習指導では、身に付けた知識および技能を、社会的事象に対する課題の解決に向けて活用したり、応用したりする力を育むことが求められています。このことを受け、これまでと同様、全分野において資料を活用して思考、判断、表現することを求める問題を設定しています。地理的分野では、基礎的な知識の確実な習得と様々な資料の活用能力を重視し、地図や統計資料の活用をはじめ、諸資料をもとに世界や日本の地域的な特徴等について思考、判断、表現する設問を取り入れました。歴史的分野では、知識の確実な習得を図る問題や日本の歴史と世界の歴史とを関連付けた問題、過去と現在を結びつけるような資料および多面的・多角的な見方ができる資料を用いて歴史を概観する設問を取り入れました。また、公民的分野では、生活に身近な事例を取り上げながら、経済分野においては、金融、少子化、社会保障、エシカル消費等について、政治分野においては人権の保障、積極的な政治参加、平和主義、共生社会の実現に関する基礎的な知識と、現実の社会的事象をもとに資料を正しく読み取る技能と思考、判断して表現する設問を取り入れました。